

FU?/ZZ? 取扱説明

この度は Ovaltone の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
製品を快適にお使い頂く為に、この取扱説明書を良くお読み下さい。

使用上の注意点(重要!)

※使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。

※製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。また、音質や音色が損なわれる可能性があります。

※AC アダプターを使用される際は、次の事柄に注意してください。火災、感電の原因になる場合があります。

- ・指定の規格(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)に合ったものをご使用下さい。
- ・AC アダプターの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときは AC アダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器(パワーサプライ)を使用される際は、次の事柄に注意してください。故障の原因になる場合があります

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に1つ以上のエフェクターに接続されている場合、パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース(外装)に接触させないで下さい。一度電源供給器(パワーサプライ)をオフにしてから接続して下さい。

※使用しない時は INPUT ジャックからプラグを抜いて下さい。電池の消耗を抑える事が出来ます。また、長期間使用しない場合は液漏れを防ぐ為、電池を抜いて下さい。

※電池のプラスとマイナスを間違えないで下さい。故障、駆漏れの原因になる場合があります。

※製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。

※トウルーバイパスの為、INPUT と OUTPUT を逆に接続しても OFF 時には音が出ます。お間違えのない様、お気を付け下さい。

※本体にケーブル表面などゴム状のものを長時間接触させておくと、塗装が溶ける事がありますので、お気をつけ下さい。

■コントロール■

【 VOLUME 】……右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

【 GAIN 】……右に回すと歪が増し、左に回すと歪が減ります。

【 モード切替 】……中央のレバースイッチを左に倒すと、ON 時に光る LED が左側の黄色 LED になり、“FU?”モードに切り替ります。

中央のレバースイッチを右に倒すと、ON 時に光る LED が右側の赤い LED になり、“ZZ?”モードに切り替ります。

●“FU?”モード

ローゲインオーバードライブファズで、真空管コンポアンプのボリュームを上げたような歪みや、クリーンブースターとは一味違う粘りと太さを加えるブースターとして力を発揮します。

●“ZZ?”モード

焼け付くようなファズの荒々しさと、ディストーション並みの扱い易さを併せ持つモードです。

■電源■

006P 乾電池(1 個)または AC アダプター(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm) ※安定化されていないものは 9V 以上の電圧が出力されている場合があり、故障の原因になる可能性がありますので、なるべく安定化されているアダプタを使用して下さい。

■消費電流■

約 1.7mA (DC9V)

■サイズ■

95 (W)x 75 (H)x 120 (D)mm

■重量■

約 390g

■電池交換■

裏蓋を外して開け、電池スナップに電池を取り付け、右上の電池収納スペースに収納して蓋を閉じます。

※注意点

・FU?/ZZ?は、本体で歪ませながら後段のアンプをブースト出来るように音量を大きめに設定しています。さらに“ZZ?”モードは“FU?モード”に比べ、音量が大きくなっています。

初めて使用する時や、モード切替をする際には、ボリュームを一度小さくしてから調整して下さい。

・内部のトリマーは音質調整用ではありません。適切な位置に固定してありますので、設定を変える事の無いようお願いいたします。